

事業所名

児童発達支援事業所 つくべた

## 支援プログラム

作成日

令和6 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		○一人一人の発達特性に寄り添い（個々の色）、沢山の経験を重ねながら、自分らしい人生が送れるようにサポート（自分の色を塗り重ねる）します。＝つくべた（創る、べたべた） ○誰もが、ウキウキ・ワクワクするような環境作り心がけ、子どもたちの喜びや成長をご家族や地域の方と共に感じながら歩んでいける事業所を目指します。					
支援方針		①身体を育てる（運動・感覚）②生活面習慣・スキルを身につける③自己表現する力を育てる（コミュニケーション）④社会性・集団でのルールを育てる⑤学ぶ力（遊び）を育てる⑥「できた！」「やってみよう！」を育てる。					
営業時間		8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり (要相談)
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の把握：連絡帳にて、その日の体調（体温・睡眠時間・食事・排泄）を保護者と共有します。登園時は、体温チェックを行い、体調管理を行います。</li> <li>生活スキルの習得：お片づけやお仕度がしやすいように個人ロッカーやカゴ等を設置し、目で見て分かるように環境を整えたり、生活スキルを習得しやすいよう、動線の整備や視覚的手がかり（写真やイラスト、手順書等）を提示し支援します。一人一人の特性に合わせた声掛けを行います。必要に応じて補助的手段（例：補助箸、すくいやすい皿やスプーンフォーク等）を活動出来るよう支援します。</li> <li>生活環境の整備：個々の活動を見て理解しやすくするため、室内のフロアを分けて支援を行っています。個々の特性に合わせた、理解しやすい環境を提供しながら、支援します。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚の発達支援：個々の感覚特性に合わせた支援を行います。五感を活かしたあそびを通じ、楽しみながら感覚を自身で感じ取れるように支援します。</li> <li>姿勢、運動の発達支援：日常生活動作を行う上で基本となる姿勢の保持や運動、動作、バランスなどの基礎的能力の発達を遊びを通じて支援します。道具と身体との関り方、力のコントロールや方向等を学べるように支援します。</li> <li>補助的な手段の活用：必要に応じて、メガネや補聴器、イヤマフ、座面クッションなどの補助ツールを活用出来るよう支援します。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの認知面・特性の理解：「出来る事・出来そうなこと・難しいこと」を整理し、必要な支援計画の作成・支援を行います。</li> <li>認知の発達支援：色・形・数・大きさ・量・空間・時間等の概念形成を習得出来るよう、個々の興味のある活動や遊びの中での経験を通じながら習得を支援します。具体物や写真、イラスト等見て分かるように提示し、概念の習得を支援します。</li> <li>外部情報からの適切な認知と行動の習得支援：一人ひとりの理解に応じた情報を提示する事で、外部情報を適切に認知し適切に処理・行動したり、自己選択出来るよう支援します。</li> <li>必要に応じて、認知強化トレーニングや認知作業トレーニングを行います。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら人に伝えたい、発信したいと思えるような環境作りやスタッフとの信頼関係を構築します。</li> <li>必要時は、カードやジェスチャーなどの代替コミュニケーション方法でのコミュニケーション支援を行います。</li> <li>日常生活活動や遊びの中で、気持ちの代弁経験を通じて、自分の気持ちを表現出来るよう支援します。</li> <li>物事の意味理解が出来るように、実物・写真・イラスト・文字など、一人一人の理解に合わせた形で提示しながら伝える支援をします。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人に伝わる/分かるなど人とのコミュニケーションを通じて、人と関わる事の楽しさを体験し身近な人との信頼関係が構築します。</li> <li>自分の気持ちや感情が分かるよう、気持ちや感情の強度を視覚化する支援をします。また、その感情をコントロールしていくための方法を一緒に見つけていけるよう支援します。</li> <li>集団に安心して参加できるよう、支援者が安心安全を確保したり、一人一人の特性に合わせた支援（見通しやルールの視覚的提示、明確化など）を行いながら、成功体験が積めるよう支援します。</li> <li>相手の気持ちや状況を円滑に行えるよう、相互の気持ちや状況を文字やイラストなどで視覚的に提示しながら整理する事で、相互に理解出来るように支援します。</li> </ul>					
家族支援		Withママ活動（保護者・兄弟児支援）：年3～4回活動。保護者同士の交流、兄弟児、家族の参加を含めた活動を実施しています。 ・育児/療育に関する相談援助。		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館/ふくふくこども館/図書館等への外出を通じた、地域交流。</li> <li>保育所等への以降や並行登園を視野にいれた支援の実施。</li> <li>小学校以降に向けた、情報提供。</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関（相談機関、保育所等）と情報共有します。</li> <li>お子様が通う園との情報共有、保育所等訪問事業との連携。</li> <li>お子様が通う他事業所との情報共有。</li> </ul>		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間計画に沿い、研修を実施。</li> <li>事業所内で1回/月ミーティングを実施し、情報共有・支援の検討。</li> <li>支援について相談し合えるよう、二人担当制を導入。</li> </ul>	
主な行事等		○年間の主な行事：季節ごとに行事を設定。例）外出（外出活動、デイサービス交流会、水遊び、ハロウィン、保護者参加型秋祭り、クリスマス、節分、お別れ会 等） ○月に集団活動があります。お便りに月毎の活動をお知らせしています。（例 制作活動、リズム遊び、お買い物ごっこ、触覚遊び 等）					